



介護士 原口 晋作さん
はらぐち しんさく



珠玉の一言：楽しみを見つめながら、楽しく介護をする

鹿児島県伊在り市から友達の紹介で来た原口晋作さん。この仕事を一言で表すと、「思いやりの場で自分の出来る介護。チームプレイを大事にすること」だそう。理由は、介護は、一対一で利用者さまに対して介護をしているからだ。そのため、一人で抱え込まないようチームケアを大事にしている。また、介護ロボットやパソコンを使うことで、身体的負担が減り、効率よく作業ができると語っている。

仕事をしていて嬉しかったことは、ちょっと疲れたときや辛いときに、周りの人から「頑張れよ」と声をかけられたり、利用者様から褒められたりしたときだと、とても嬉しそうにおっしゃっていた。

仕事をする中で目指すものは、「ここで



自分が受けたい介護、家族に受けさせたい介護、自分が自分であるために介護をすることが目標」と熱く語った。介護の仕事をしようとしている方へのメッセージとして、「ただ介護をするのではなく、介護をする楽しさを自分で見つけながら楽しんで介護をしてほしい」とおっしゃった。

(取材：1年 森永・杉島)

会社概要

特別養護老人ホーム八幡の里、あけぼの園、グループホーム顔なじみを運営しています。地域の福祉サービスの拠点として事業を展開していきます。

■事業所／特別養護老人ホームあけぼの園、特別養護老人ホーム八幡の里、グループホーム顔なじみ

代表者／理事長 桑原 健悟
設立／昭和57年6月3日
本社所在地／えびの市大字原田1403番地27
従業員／174人（市内出身者121人）

